

## < 第 17 回鳥取県少年サッカー U - 11 大会開催要項 >

### 開催要項

---

#### 1 : 趣旨

サッカーの楽しさをさらに深め、試合を通じてさらなる技術の向上とフェアプレーの精神を養い、健全な心身の育成・発達を図ることを目的とした大会である。

#### 2 : 主催

(一財)鳥取県サッカー協会

#### 3 : 主管

(一財)鳥取県サッカー協会第4種委員会

#### 4 : 後援

鳥取県教育委員会

#### 5 : 協賛

モルテン

#### 6 : 期日

2014年3月1日(土) 4チームによる予選リーグ

3月2日(日) 各組1、2位による 決勝トーナメント

< 東部予選 >

2013年11月30日(土)

2013年12月 1日(日)

#### 7 : 会場

湯梨浜町東郷運動公園多目的広場他

< 東部予選 >

CWSP 球技場

#### 8 : 参加資格

- ・日本サッカー協会第4種及び女子(小学生)加盟登録した団体。
- ・小学校5年生以下の男子、女子。
- ・各地区予選を勝ち抜いた16チーム  
(東部6、中部4、西部6)

#### 9 : チーム編成と条件

D1 : チームの編成は、監督1名、コーチ2名 選手16名以上24名以内とする。

- ・ベンチに入れる人数は、監督1名、コーチ2名、選手16名とする。
- ・選手は健康であり、かつ保護者の同意のあった選手に限る。
- ・参加全チームは傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に必ず加入していること。

## 10：表彰

優勝チーム	トロフィー	賞状
2位チーム	楯	賞状
3位チーム	楯	賞状

## 11：競技規則

- ・最新の(財)日本サッカー協会8人制競技規則による。  
選手証は、必ず写真を貼って持参すること。  
(選手証もしくは仮選手証がない場合は出場できません。)
- \*仮選手証についてはWeb登録した画面のイメージを印刷したものでなく  
県協会より払い込みが完了した文書や証明書が必要です。
- ・ベンチ内では、監督・コーチの中で1名以上は、ライセンスカードを首から  
かけて審判、役員に見えるようにしてください。
- ・地区代表を勝ち抜いた16チームによる予選リーグ、決勝トーナメントで  
行う。
- ・競技時間はすべて12分×3ピリオドとし、第2と第3ピリオド間のインタ  
ーバルは、5分とする。
- ・第3ピリオドは約6分が経過したところでエンドを交替する。  
**<東部予選>**  
**D2については、参加チーム数、日程により競技時間を後日、決定します。**
- ・予選リーグは勝ち点制(勝ち3点、負け0点)を取る。36分で勝敗が決  
しないときはPK戦(3人ずつ)をする(PK勝ち2点、PK負け1点)。  
それでも決しないときは、得失点差、総得点、抽選の順に順位を決定する。  
決勝トーナメントについては、PK戦(3人ずつ)によって次に進出する  
チームを決める。  
準決勝、3位決定戦、決勝戦については、6分間の延長(前半、後半)を  
行い、尚決しない時はPK戦によって次に進出するチームを決める。
- ・第1ピリオド、第2ピリオドは、選手8名がすぐに交代(GKは必ず)。  
第3ピリオドは16人の中から自由な交代による。選手は3ピリオド続け  
てプレーしてはいけない。(延長戦は、これに限らない)
- \*極端な身体の不調の場合を除き、全員が必ず1ピリオド以上2ピリオド以  
内プレーをするものとする。
- \*延長戦においては、前半と後半に8名(GKを含む)交代を行う。
- ・ボールは、少年用ボールとし、ゴールは原則として少年用とする。  
(215cm×500cm)
- ・出場するチームは必ず濃淡2着の背番号のあるユニホームを用意すること。  
(GKもGK用2着、フィールドユニホーム2着が必要です。)
- ・警告累積2回、及び退場を受けると次の試合には出場停止。警告・退場の  
内容によっては、規律委員会を開き、その後の処分を決定する。ただし、  
退場処分になった場合、他の選手を補充し常に8人でプレーする。
- ・金属底ポイント・取り替え式ポイント及び主審が危険と認めたスパイクは  
使用してはならない。(危険と認めたスパイクとは、プラスチック底でも  
角が尖ったりしているものをいう。)

少年チームとしての正しいマナーを身につけて参加すること（少年サッカー選手として、少年チームの監督としてのマナー、正しい応援マナー。等）サポーター（保護者等）の暴言等においても監督は退席をする。

1 2 : 監督会議および開会式

監督会議を9時より、開会式を9時30分より湯梨浜町東郷運動公園多目的広場本部で行う。  
全チーム監督、選手とも必ず出席のこと。

1 3 : 試合日程及び審判について 別紙試合日程の通り。(後日お送りします。)

審判については、必ずしも予定どおりになりませんが御協力ください。

1 4 : 問い合わせ先

東部地区委員長 小林

東部地区申し込み先 事務局 柏木

1 5 : その他

上位2チームをJ A全農杯チビリンピック 2014 小学生8人制サッカー in 中国  
兼 第12回中国ユースサッカーU - 12 ジョイフル大会に鳥取県代表として推薦する。(2014年4月12日(土)、13日(日) 広島県開催です)

鳥取県として

1 - 各地区の登録時点で16名以上の登録をしたチームは中国大会出場資格のあるD (ディビジョン) 1の参加資格が与えられる。

(16名以上の選手がいなときは、D (ディビジョン) 2の部に、8人以上の登録で参加できる(地区大会のみ)。試合の成立は6名以上とする。  
人数のそろわないチーム同士による合同チームを認める。)

<東部予選>

D 1、D 2については、上記のとおりとします。

各チームD 1は1チームとします。

但し、同一チームで、D 1 1チーム、D 2 1チームの参加も認めます。

2 - 大会当日に、極端な身体の不調、怪我等の場合で、当日14名より少なくなったチームは、棄権となりますが、試合はオープンになります。試合の途中で少なくなったときは、欠員で行う。次の試合までに、14人以上にならなかったときは、棄権とする。リーグ戦に於いては、棄権したチームのすべての記録を白紙に戻す。

3 - 14人の時1 P、2 Pは、(8人 - 6人、6人 - 8人、7人 - 7人、監督の裁量で。)

15人の時は、1 P、2 Pは(8人 - 7人、7人 - 8人、監督の裁量で)

3 Pは8人。

4 - 第1ピリオド以上、2ピリオド以内のプレーとは、12分以上24分以内の範囲とし確認がしにくいので、ベンチに入る人数を16名にする。試合の途中で怪我や退場処分、突然の体調不良による選手の補充については、審判の判断により補充することが出来る。

試合中の怪我により第 1、2 ピリオドが最後までプレー出来なかった選手が、ベンチで回復し、第 3 ピリオドに出場するのは可能である。

(出来るだけ全員がプレーするのが望ましい。)

- 5 - 選手の 2 ピリオド以上 (24 分以上) のプレー、戦術による第 1、2 ピリオドの悪質な選手交代が発覚した場合、規律委員会を開催し、場合によっては、そのチーム監督は全日本少年サッカー大会にそのチーム監督として大会出場することが出来ない。
- 6 - PK 戦は最終ピリオドのピッチにいる選手 8 名で行う。  
(ベンチの選手は PK 戦に参加出来ない)
- 7 - 試合ごとに、エントリー者を替えてよい。  
自チームの第 1 試合が始まるまでに登録選手の入れ替え、追加は OK とする。

**\*選手も指導者、サポーターもフェアプレーの精神を養い、実践しましょう。**